



鮮やかな緑の中、登山道を進む登山者ら

矢巾町のシンボル、南昌山の山開きは6月2日、行われました。町民を中心に約230人が参加。安全を祈願した後、山頂を目指して出発しました。当日は天候にも恵まれ、参加者らは汗を流しながら、登山道を進みました。5合目では、恒例のかき氷の振る舞いが行われ、参加者らは「涼」に癒しを求め、後半の登りへ英気を養いました。登頂後、参加者らは展望台から景色を眺め、昼食をとるなどして楽しみました。

芦名瑞紀さん（矢巾北中学校1年）は「途中で疲れてやめたくなくなったけど、最後まで登ることができて、すがすがしいです」と達成感を味わっていました。



頂上まであと少し。杖をつき歩みを進める

新緑楽しみ、山頂目指して 南昌山で山開き



町青松学園大学開講式で、学生を代表してあいさつする菅原忠文さん

**矢巾町青松学園大学
田園ホールで開講式**

矢巾町青松学園大学の開講式は6月1日、田園ホールで行われました。今年度は約520人が入学。受講へ意欲を高めました。

同日の第1回講座は高橋昌造町長が登壇し、「矢巾町の未来について」と題し講演。参加者とともに町の将来像を展望しました。



シリウスの佐藤社長と「防災を学ぶ世界地図」を持つ代表児童ら

**命を守る方法学んで
シリウスが防災地図寄贈**

住宅メーカーのシリウス（佐藤幸夫社長）は5月20日、「防災を学ぶ世界地図」243部を町に寄贈しました。町内の小学5年生用で、学校や家庭での防災学習に役立てられます。同日の寄贈式では、4小学校の代表児童が佐藤社長から、地図を受け取りました。

また、町から同社へ、感謝状を贈呈しました。



きらびやかな装束を身にまとった
すみれと記念撮影

チャグチャグ馬コ前祝祭 4頭が町内巡る

南部盛岡チャグチャグ馬コ前祝祭は6月3日、町内で行われました。4頭の馬が装束を身にまとい、小学校や保育園、福祉施設など約20か所を訪問しました。

このうち、北高田こども園では、山本勝美さんのすみれ（雌3歳）が訪問しました。園児らは、ニンジンを食べさせたり、鈴を鳴らしながら園庭を歩くすみれを眺めたりして、楽しみました。

すみれに乗った、同園の加藤あかりちゃん（4）は「楽しかった。怖くなかった」とほほえみました。



すみれにニンジンを渡す、
北高田こども園の園児



プランターへ花苗を植え付ける
町商工会の女性部員ら

矢巾町商工会は「商工会の日」の6月10日、町内で花いっぱい運動や清掃活動を行いました。このうち、花いっぱい運動は、町商工会館前でプランター94個にベゴニアを植え付け、町内中学校、やはばーくなどに設置し、街中に彩りを加えました。

町商工会が活動 花いっぱい・町内清掃



勢いよく、ちゃぶ台を返す参加者

日頃の思いをぶつけて アルコでちゃぶ台返し

「ちゃぶ台がえし世界大会!」は6月15日、アルコ前で行われました。町内外から21人が参加。仕事や私生活でたまった鬱憤を晴らすかのように、力いっぱい、ちゃぶ台を返しました。

参加した赤澤結衣ちゃん（4）は「楽しかったです。またやってみたいです」と話しました。